議会だより

2012.5
vol.34

ふじかわぐちこ

小立小学校入学式

- 議長就任あいさつ 2P
- 議会改革 3P
- こういうことを決めました 4P
- 予算特別委員会 6P
- 代表質問 10P
- 一般質問 16P
- 前議長報告 19P
- 窓・編集後記 20P

富士河口湖町は富士山世界文化遺産登録を推進しています

第1回定例議会 議会内の役員改選

議長に 三浦　康夫氏

河口保育所退所式

◆議長就任あいさつ

富士河口湖町議会 議長
三浦　康夫

町民の皆様には平素より町議会の活動および町政に対し、ご理解とご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。

現在、富士河口湖町では富士山世界文化遺産登録が目前に迫っており、文化や産業に対し新たな価値が生み出されようとしております。世界遺産という新しい価値を有効に活用し、これまで以上に町全体の活性化につなげることが求められております。

視野を広げてみますと、わが国は東日本大震災により戦後最大の国難に見舞われており、震災復興は大きな課題として残っております。震災後「絆」という言葉が見直されましたが、この国難から抜け出すには「絆」が最も大きな力を生み出すものと信じております。

また、このような中、国と地方のあり方も大きく見直されており、地方が地方らしく活躍することができる環境として地方分権改革が進められております。知恵と工夫を活かした地域間競争の時代に突入しており、地方行政も地域経営の考えが無ければ太刀打ちできない状況におかれております。このような時代の流れに乗り遅れることなく、国や県に対しても主張すべきところは主張し、要求すべき点は要求していく姿勢が必要です。

そのためにも、議会では進めてきました議会改革や情報公開をこれまで以上に展開させ、町民にも分かりやすく町民から信頼される開かれた議会を目指し取り組んでまいります。議会の果たすべき役割を十分に認識し、町長と議会が車の両輪となりお互いの権限を尊重しながら、町民から負託された思いをかなえるため、公平で公正な円滑した議会運営を推し進めてまいります。

今後とも町民の皆様方のご指導とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

本格的に行動開始
富士河口湖町議会改革

議会改革推進特別委員会

住民に信頼される議会を目指し、住民の付託を受けた議会議員として、積極的な役割を果たす必要があります。福祉の町、住みよい町づくりには、議会が変わらなければなりません。

住民の付託を受けた議会がどのように変わるべきか、調査、研究していきたいと考えます。

委員長　髙山　泰治

平成23年6月から7回の会議を
重ねてきた中での決定事項

●議会内規の一部改正

1　委員会の公開・傍聴の許可
　傍聴のための委員会席と議員控室の交換
2　委員会の採択の原則起立採決
3　条例改正の上での複数の常任委員会所属
　可能（１委員会12人）

▲昭和町議会を視察

●3分科会設置による調査、研究

第１分科会

学ぶ議会について協議

- 大学との連携
- 議員研修実施
- 学生議会の開催及び学生との対話

リーダー　古屋一哉
サブリーダー　外川正純
委　員　渡辺元春・佐藤安子
　小佐野快・山下利夫

第2分科会

行動する議会について協議

- 住民との対話
- 町内各種団体との対話と集会の開催
- 議会報告会の開催

リーダー　髙山泰治
サブリーダー　小川清治
委　員　堀内昭登・渡辺　洋
　梶原　武・三浦康夫

第3分科会

議会基本条例について協議

- 改革する議会
- 変革する議会
- 反問権

リーダー　倉沢鶴義
サブリーダー　梶原義美
委　員　渡辺喜久男・井出總一
　駒谷隆利・渡辺余緒冶

臨時議会＝107億8千万円の内訳

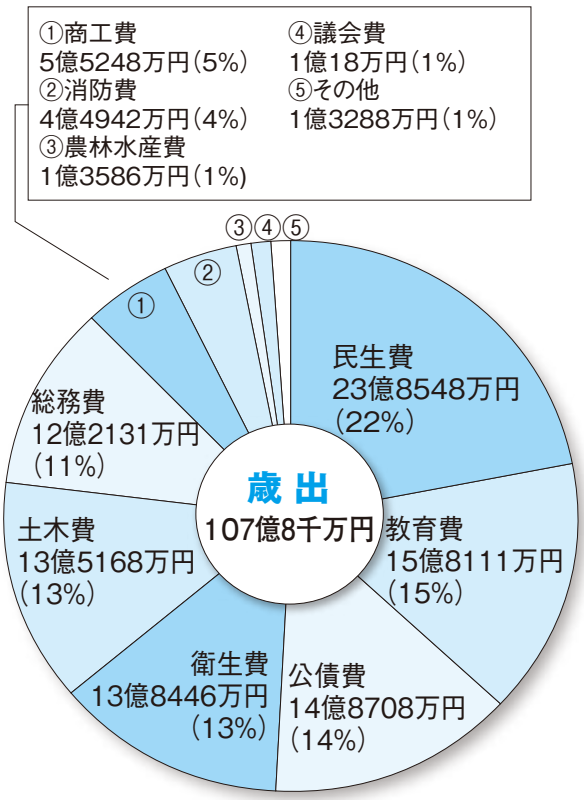
■第１回定例議会

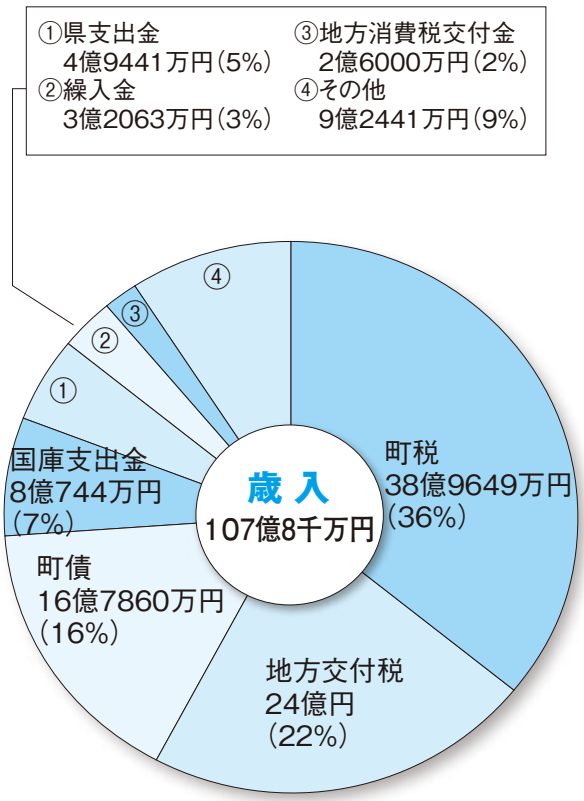
平成24年第１回富士河口湖町議会定例会は３月６日に開会し、会期を23日までの18日間と決めた。

条例の制定２件、条例の一部改正11件、補正予算14件、同意案件１件、請願１件などを審議し、すべて原案どおり可決、承認、採択された。

３月の定例会では、一般会計と32の特別会計の平成24年度予算を、予算特別委員会を設置し、慎重な審議を行った。

平成24年度一般会計予算内訳





国民健康保険特別会計	26億8987万円
介護保険特別会計	15億161万円
下水道事業特別会計	12億3661万円

湖南中校舎耐震化事業負担金など

●父子家庭支援策の拡充を求める意見書の提出を求める請願

請 願 人　堀内　恵一

紹介議員　梶原　武　　渡辺　余緒治　　佐藤　安子

請願内容　母子家庭が受けられる行政による支援制度の多くが父子家庭では受けられないため、対象が母子家庭に限られている諸制度を、父子家庭も対象とするように改善すること。

審議結果　全員賛成により採択された。

こういうことを決めました！

平成24年度

●第1回定例議会●第1回 町の歳入・歳出

●条例の制定（2件）

▼富士河口湖町簡易水道基金条例の制定

▼富士河口湖町行政組織の再編に伴う関係条例の制定
（政策局、企画課、管理課をなくし、政策財政課と総務課に再編）

●条例の一部改正（11件）

▼富士河口湖町消防団員の定員、任免、給与等に関する条例の一部改正

▼富士河口湖町企業立地促進条例の一部改正（除雪奨励金の支給）

▼富士河口湖町介護保険条例の一部改正（介護保険料の増額改正）

▼西湖いやしの里根場条例の一部改正（休館日の縮小と営業時間の延長）　他7件

●承認案件（1件）

▼富士河口湖町西湖辺地及び根場辺地に係る総合計画の変更承認　（事業の追加）

●町道の路線認定（1件）

▼町道0115の路線認定（河口浅間通りの町道認定）

●字の区域の変更（1件）

▼船津字中村及び船津字宮ノ森の区域の変更

●委員同意案件（1件）

▼大嵐財産区管理委員選任の同意
〇渡辺　軍治　氏　　〇渡邊　榮治　氏

平成23年度一般会計補正予算

▼一般会計補正予算（第10号）

年度末を迎え、不用額を削り不足経費を増額するなど予算の細かな見直しや事業の清算に伴い、総額で差し引き2,109万円の増額補正を可決した。

■増額された主なもの

公共施設建設基金積立金	7,100万円	地方バス路線維持費	318万円
除雪作業委託金	2,200万円	太陽光発電システム設置補助金	100万円
畑地帯総合整備事業負担金	1,621万円		
介護保険特別会計繰出金	799万円	以上、町民生活に直接関係するものとなった。	
後期高齢者医療広域連合負担金	600万円		

■第1回臨時議会

第1回議会臨時会は、平成24年2月20日に開会され、1,740万円を増額する介護保険特別会計補正予算（第4号）と、1271万円を増額する一般会計補正予算（第9号）を審議し、2案件とも全員賛成で可決された。

町の予算が有効に使われるか委員会でチェック！

平成24年度予算

平成２４年度 富士河口湖町 一般会計予算 歳入、歳出総額107億8千万円

委員長
渡辺余緒治

副委員長
渡辺　　洋

予算特別委員会

一般会計

町民一人当たりの借金は65万３０００円

質問　町民一人当たりの借金はいくらか。

総務課長　起債総額を人口２万５４７１で割ると町民一人当たりの借金は65万３０００円である。

質問　課長登用試験費用が計上されているが、課長試験は何歳から受けるのか、受験する職員は何名か。

総務課長　50歳前後を目安とする。20名を予定している。

防災は重要な部署から取り組む

質問　計上された２８００万円の防災対策費で町の防災対策はできると考えるか。

町長　これですべてがしっかりいくかというと、現時点で自信を持てるところではない。抜本的な課題、テーマをしっかり重点を決めて、重要な部署から取り組んでいきたい。

質問　システム保守委託料にはホームページ等々いろいろ組まれているということだが、ホームページの経費は計上されているのか。

企画課長　ホームページの委託料は１１８万円である。

質問　ホームページは町の顔である。余り魅力を感じないレイアウトだ。検討すべきではないか。

企画課長　もっと引きつけるような内容に改善はしていきたい。

質問　ふるさと応援寄附金が減少している理由は。増加対策はあるか。

企画課長　大口の減少で減額になった。現在はホームページへの掲載、広報でのお知らせ、固定資産税の納入通知書にチラシを同封してお願いしている。

税のコンビニ納付

税のコンビニ納付を推進せよ

質問　税の滞納を減らすことは町の大きな課題である。気軽にコンビニで納付できれば、収納率アップにもつながり滞納税減額になる。前向きに取り組んでもらいたい。

渡辺電算係主幹　現在、一部ではあるが町県民税の普徴、国保税、軽自動車税と固定資産税をコンビニで納付できるようになっている。今後も前向きに取り組む。

質問　税の滞納整理のアクションプランが立ち上がったが、今年度の取り組む決意は。

町長　税務課を中心に、庁舎挙げて協力体制をとる。

税務課長　累積滞納額を減らし徴収率を上げるアクションプランを立てた。厳しい経済状況だが、平成24年度も目標を達成したい。

質問　工業団地をつくらなければ、誘致企業が目を向けない。まず候補地を確保しなければならないが、町長はどう考えるか。

町長　多角的に検討すべきだ。この件は今後の町が取り組む課題として、きめ細かく検討していきたい。

無医村地区解消が遅れる理由は

質問　無医村地区解消の要望を受け、町も前向きに取り組み富士ヶ嶺地区の診療所を何日かでも開業し、地域の医療発展に貢献するということであったが話が進んでいないか。なぜか。

政策局長　富士吉田医師会の了承を取りつけてくれという理事長からの申し出が昨年９月にあり、医師会の了承は得られた。しかし、健康科学大学との協議が未だ調っていない。

誘致企業:松山油脂富士河口湖町工場

住民健診率は1.4%の微増

質問　住民健診を今年度から日曜日も行い、いろいろ工夫をされたが、実績は上がったか。

康増進課長　数値が大幅に上がると期待したが、実際には1.4％の増加を見たのみであった。今後いろいろな工夫をして受診率アップを図る。

質問　保育料が昨年度よりも１６８０万円減となっているが、その理由、原因は。

児童福祉主幹　近年、世帯の所得額が若干減少している傾向にあり、保育料も若干だが年々下がっている状況にある。

質問　太陽光発電システムの設置補助金は４月から１kw／h３万円で最高限度額15万円ということだが、予算には何基分を計上したのか。

環境課長　今までの傾向では、一般家庭には３から４kw／h範囲の太陽光発電システムを設置しており、40件を当初予算で見込んでいる。

ごみの持ち込み料が高い

質問　年々上がるごみの持ち込み料金について、担当課長の所見を聞く。

環境課長　ごみの持ち込み料は2億9500万円で毎年上がっている。24年度に向けて旅館組合のご理解をいただいく中で、1トン未満の無料を廃止して1キロあたり4円でご理解をいただきたい。

質問　大型破砕機を購入するが、一般家庭の植え木などもチップにしてもらえるということか。

環境課長　年間委託料として23年度は310万円払っている。一般家庭の枝や家具など、すべてこの機械で破砕はできる。

観光連盟職員の身分は

質問　観光連盟の職員は観光課の職員か、連盟の職員か分かりにくい。町の観光連盟として独自性を持つ事業を展開していくには駅か大池にある防災会館2階を事務所として業務できないか問う。

町長　明確に節度を持って業務を進めるという上で、別にしたほうが良い。今までの慣習のように受けとめていたが、今後は整理、検討をしていきたい。

緊急雇用創出事業の詳細を聞く

観光課長　現在5つの事業を計画している。1つは国民文化祭、これから準備に入るので職員を増員する。次に大石紬関係、大石紬伝統工芸館の伝統的技術を養成して行きたい。御坂山系の登山道の整備、標識等のチェックなどあわせて実施する。西湖いやしの里根場の事業関係では、いやしの里のある根場地区で昔、行われていたことを再現したい。一般道路関係では、道路の危険な箇所を調査し、安全を確保するためにデータづくりを行う。

観光案内所

小学校に発電機と照明装置を設置

質問　学校に発電機と照明装置を設置するということだが、24年度はどこに設置するのか。

学校教育課長　学校と相談しているが船津小学校と小立小学校になるのではないか。夕方等に地震等が発生し停電が起きた時に、すぐに帰宅できない児童への対処が必要である。電気がつく部屋を確保するために発電機の購入を決めた。

質問　町単独教諭は今年度7名になっているが、23年度の組織表では8名が町単独教諭だった。前年より1名減った理由は何か。

学校教育課長　町では町単独教諭を配置して全学年で30人学級を実施している。平成24年度からは県により小学校4年生まで35人学級が実施されるので、その分の教員が県により配置される。したがって町単独教員が1人減ることとなった。

質問　教育への予算は未来への投資だという言葉をよく聞く。教育委員長はどのような考えか。

決算特別委員会

教育委員長　教育全般について小中学校の統合問題がある。町のすべての小中学校が差別なく常に良好な状態で教育が受けられる設備や人員配置を含めて長期的ビジョンを持ち考えていく。

サッカー場を有効活用せよ

質問　くぬぎ平サッカー場の管理費は過去から変わっていない。多少費用はかかっても、前向きな方向で行くことがとても大事である。町の方針を聞く。

生涯学習課長　メインのサッカー場周辺の芝生化も考え検討したところ芝生化のための補助金がある。これはスポーツ振興くじ助成金で、４０００平米を超えた場合には助成金が得られることを確認している。12月初めまでに申請する必要があるので、25年度に向け何とか申請して取り組みたい。

映画祭の観客を増やせ

質問　富士山河口湖映画祭を毎年開催しているが、なかなか観客が増えない状況が続いている。観客増加のためにどんな努力をしているのか。

文化振興局長　もう少し皆さんにわかるように、広く早目に告知をして進めていきたい。

質問　映画祭のすばらしい映画を皆さんが見られるように、町のホームページから富士山映画音楽祭というのをクリックしていくと、その中から過去の作品がダウンロードできて、気軽に見られるような形にできないか。

文化振興係長　町民の方にも広くやはり映画を皆さんと一緒につくってきたものなので、気軽に見られる雰囲気づくりも含め、技術的にダウンロードできるか実行委員会で前向きに考える。

質問　ステラシアターと円形ホールと美術館を、ネーミングライツで経費削減を図る考えはないか。

町長　各施設のネーミングライツの取り組みはしていない。今後執行部としても検討する。

富士山河口湖映画祭

富陽の会

だいひょう・かんれん 代表・関連質問

Q1 健全な町財政の確立とは

質問　合併特例債以外の借金をできる限りふやさない、健全な町財政の確立とはどのようなことか問う。

町長　借金をできるだけふやさない健全な財政の取り組みに心がけている。その指標である実質公債比率を見ると、平成22年度は14・6％であった。地方債の発行に際し国の許可が必要な18％を超えることのないよう普段から気をつけて健全な財政運営に取り組んでいく。

再質問　合併特例債の使われ方に大きな地域格差が生じているが町長に問う。

町長　ご指摘の点はあろうかと思うが、合併時の建設計画に載っているものを執行している。地域格差を極力少なくするという視点は、従来どおり全く変わっていない。

関連質問（倉沢鶴義）　町長が前町長から地方債を引き継いだのが145億円、平成23年度は171億4700万円、湖南中学校建設に伴う合併特例債が約5億円入り、平成24年度見込みが175億6700万円である。これだけ増えても後年度に負担は残さないのか。

町長　借金は極力すべきでないと思うが、継続事業等で進めなければならないものもある。湖南中学校建設には大変な資金負担が必要であり、湖南中学校の財政状況を見ると、基金もないところからスタートしている。どうしても必要なことは、町政発展のために取り組まなければならいと考える。

富陽の会 代表質問者
堀内　昭登

Q2 町のおもてなし条例を推進するための具体的な施策は

質問　観光立町である我が町の取り組みとして、町のおもてなし条例を推進するための具体的な施策を問う。

町長　富士河口湖ブランドの創出と世界文化遺産と連動した観光のまちづくりが最重要であると考える。地域づくりや観光地を動かす原動力は地域住民力である。行政と観光関連事業者や地域住民が一体となった、住んでよし、訪れてよしの富士河口湖町としての受け入れ体制の構築を早急に目指していく必要がある。

関連質問（渡辺喜久男）　町長の公約として富士山教育を取り入れた中学生の富士登山の計画があるが、教職員や保護者の考え方や、登山する際の安全対策についての考えを問う。

教育長　富士山は学校や子ども、保護者からの要望で実施すべきだ。子どもたちが非常に関心を持っているので、富士登山検討委員会の中で保護者、教師の意見を吸い上げて検討していきたい。

Q3 学校給食の地産地消の推進を

質問　学校給食の地産地消の推進について問う。

町長　平成24年度からは栄養士、調理師、生産組合の代表者などの関係者と協議し、より多くの地場野菜等の利用ができるよう努める。

関連質問（渡辺喜久男）　人件費の削減、大量仕入れによるローコスト化などの観点から船津、小立小学校、湖南中学校も含めた給食センター化の考えはあるか。

町長　顔の見える身近で子どもや生徒に思いやりを持った食を提供をしたいので、現時点では統合ということは、全く私の考えの中には入っていない。

Q4 スポーツ合宿地タウンとは

質問　スポーツ施設や自然環境を生かした、スポーツ合宿地タウンにするとあるが、具体的な方策を町長に問う。

町長　宿泊施設の組合は、積極的に誘致活動をしているところもあるが、町でも関係業者や関係機関に積極的にセールスをしていきたいと考えている。しかし、体育施設の不足や整備不足も指摘されており、受け入れ体制の整備を検討していきたい。

新たな食材として注目されるヤーコン芋

関連質問（渡辺喜久男）　本栖湖スポーツセンターが平成27年度までに県から町に移管されると聞くが、県が現にある施設をどの程度まで改修をしてくれるのか問う。

副町長　今ある施設をそのまま利用する中で、不都合な部分の施設整備は県が行う。新たに町が施設整備をしたり、新たな事業をするという部分は町の負担になる。

関連質問（小川清治）　東日本大震災や福島原発事故のため東北ではスポーツ大会ができないと聞いているが各種大会を町で誘致をする考えがあるのか問う。

町長　誘致について手をこまねいているわけではないが、各種大会の施設が完璧に受け皿として機能していないという部分がある。たとえばサッカー場の施設はあるが、大会誘致には整備が必要である。誘致をしたはいいが、その場所が適切でなかったと言われないよう検討すべきと考える。

Q5 女性の目線で行政に反映を

質問　特別職・委員会・審議会への女性の登用について問う。

町長　女性が登用されていない各種委員会や審議会等へ積極的に女性を登用し、女性の行政参画への土壌を育みたいと考える。

再質問　昨年12月に地域振興協議会の委員の任期が切れ、いまだに委員が決まっていないようだが、地域振興協議会の委員の選出はどのようにして選出しているのか。

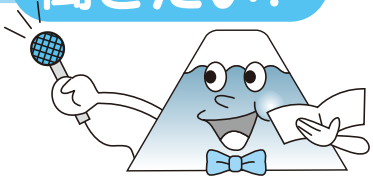
町長　地域の方とも多少相談もしているが、私自身の判断で人選をしている。

関連質問（小川清治）　今までは財産区の管理会、地域振興協議会、その他の委員の選考は地域性、地区の割分というのがある。たとえば船津地区では地区で推薦をして町長が任命するという形をとっていたが、選考方法を今後慣例に伴わず町長自ら選考するのか問う。

町長　過去1期目の任期の際には、地域性や、その他いろいろの面でわからなかった部分もあり、私のほうから相談を投げかけた経緯がある。今後は4年の経験を踏まえた中で、ある程度私自身の意も取り入れていきたいと考えている。

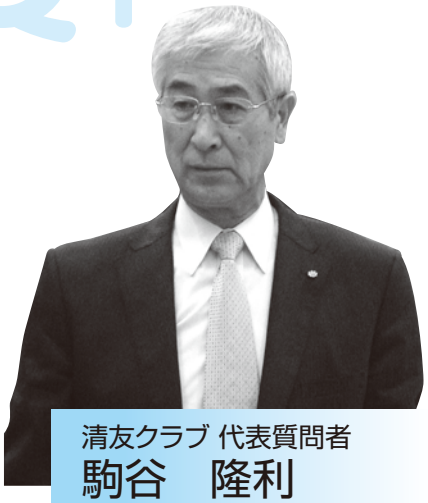
関連質問（倉沢鶴義）　参与は廃止したらどうか問う。

町長　教育・福祉・環境を女性の目線で行政に反映していきたいというが主眼である。費用もかかるがよい町にしていくということでお力添えがいただければ、かかったお金以上の効果があると期待している。



清友クラブ

だいひょう・かんれん 代表・関連質問



清友クラブ 代表質問者
駒谷　隆利

Q1 地域経済浮揚対策

質問　地域経済の浮揚策と各種産業への支援策が当初予算にどのように反映されているのかを問う。

町長　乳ケ崎新設改良事業、登山道線道路整備事業、インター線新設改良事業に総額２億６８００万円を計上する他、出口線改良事業に６７５０万円、農業基盤整備のための畑地帯総合事業に７０００万円計上した。

再質問　公共事業の減少により土木業者の倒産や廃業が懸念されるが。

町長　土木業者を初め各業界は大変厳しい状況にあり、具体的には予算計上した以外の施策は現在持っていない。地道に何とかこの急場を乗り切っていただくことを願う。

Q2 新倉トンネル開通に伴う対策

質問　平成26年度中に新倉トンネルの開通が見込まれるれるが、通行量の変化に伴う早めの対応策は。

観光課長　地域の魅力づくり、的確な情報の発信、適切な道路標識や誘導看板の設置等が必要なので、その対応策を早急に地域の観光業者や住民と協議に入る。関係機関にも働きかけを行う。

関連質問（井出總一）　新倉トンネル開通後の船津地区への誘客と今後の経済対策を問う。

観光課長　船津浜においては特段の対策はないが、小曲の公園などを活用して基本的に地域が魅力を発信することで活性化を図る。

関連質問（渡辺洋）　町内産業の発展と雇用の創出という観点で企業誘致係を設置したが、具体的な活動と方針を問う。

町長　企業誘致係として新しい組織を発足させる。商工会等を通じ、現存の企業と意見交換等を綿密に行う中で、少しでも活性化が図られるよう努力する。

関連質問（梶原義美）　企業誘致用工業団地を建設する考えがあるか問う。

町長　企業誘致に対しては、まずは用地の確保が一番基本になることだ。

Q3 首都直下型地震と富士山噴火に対する防災対策

質問　マグニチュード7級の首都直下型地震の発生と富士山噴火の対策は。

管理課長　町や消防団、消防署など防災関係機関の活動がすべてに十分に行き渡らないことが予想されることから、災害による被害を

急ピッチで工事が進む新倉トンネル

最小限にとどめるため町民に対する防災意識の普及、啓発を図るとともに、各自治会・区を中心に組織される自主防災組織の強化、育成に努める。

再質問　災害に強いまちづくりを推進するとはどのようなことか。

町長　防災に関する根本的な基本政策を構築するよう取り組む。まず避難民を受け入れいただくために笛吹市と防災協定を締結、今後秋田県仙北市と協力関係が結ばれるよう、これから働きかける予定である。

再々質問　災害時には予想もつかない復旧・復興の経費が一時期に集中して必要となるが、これらの財源を備えとして、町民の安心を確保する観点から基金を創設していく考えがあるか問う。

総務課長　災害時の基金としては、現在の財政状況を考えると困難な面があり、災害により発生した経費や減収を埋めるための財源として財政調整基金がその機能を十分に果たしていることから、この基金を活用して災害時の対応を図る。

関連質問（渡辺洋）　地域の防災リーダーを育成し、自助、公助、共助、隣保協働の精神に基づき、自分たちの地域は自分たちで守る意識が持つことが大変重要であると言うが自治会未加入者の対応は。

町長　地域ごとに住んでいる方々の内容等よく把握していく中で、自主防災組織を確立していくことは非常に大切だと思う。未加入住民に加入の促進の必要性を伝えて促進をしてまいりたい。

関連質問（井出總一）　防災ラジオを500台導入するが、その配備先は

管理課長　自治会を通じ各戸に確認をした上で、防災行政無線が聞こえない空白地帯に配備したい。

Q4 冬花火と観光振興

質問　冬花火にかわる有力なイベントは一朝一夕にできるものではないので、河口湖漁業協同組合に代替イベントが確立するまでの間、現状の冬花火が実施できるように申し入れを行う考えがあるか問う

町長　漁協に対し、湖上の冬花火実施を申し入れる考えはない。初めて実施した富士河口湖冬物語のイベントの評価、検証を行うとともに、新たなイベントや大きな集客力のあるイベントについても新イベント検討委員会及び下部組織であるワーキンググループ、部会で検討をしている。

再質問　5年、10年先を見据えた中で、冬桜を植えて新しい観光名所をつくる考えがあるかどうか問う。

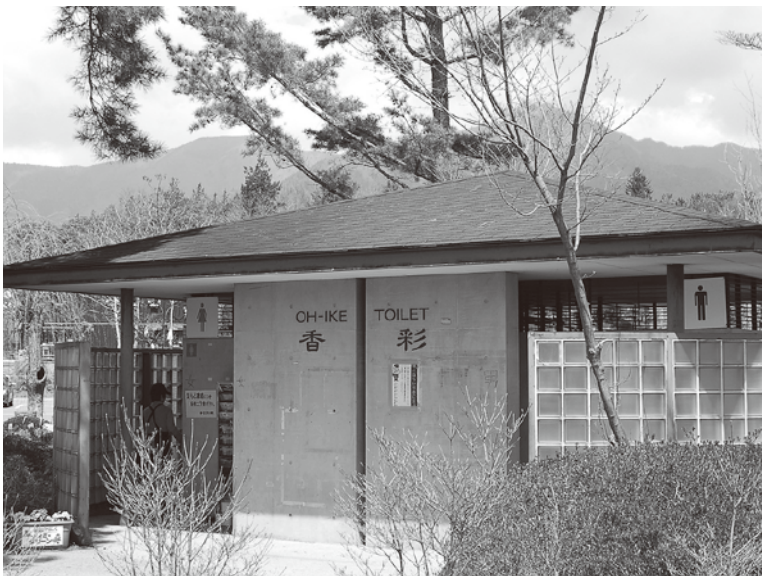
町長　冬桜については十分検討に値することだと思う。黄色に花が冬場咲くロウバイという花木の取り組みも話題になっているので、今後どのように取り組んでいくのか検討する。

関連質問（梶原義美）　町長はトップセールスを行い、観光振興に貢献すると言っているが、今年開催予定のトップセールスとキャラバンの計画は。

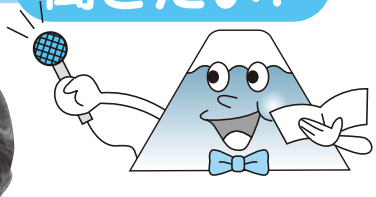
町長　海外には過去の経験ですと毎年2回、あるいは1回参加している。国内では東京方面、関西方面で実施しており、これを着実に実行していくことが誘客につながるものと思っている。

関連質問（井出總一）　大池トイレの改修、改善をする予定があるか問う。

観光課長　大池公園のトイレ改修は以前にも指摘があった。今後検討する。



大池公園のトイレ



親樹会

だいひょう・かんれん 代表・関連質問

親樹会 代表質問者
梶原　武

Q1 オール富士河口湖町での取り組みを

質問　世界遺産登録は、観光立町富士河口湖町の重要課題である。世界遺産を目指す町に平成24年度の具体的な取り組みがあるか。また、来年山梨県で国民文化祭の開催が予定されているが、町の考えと具体的な事業は。

町長　湖の景観を良くするための廃船処理や、郷土を学ぶ講座や学習会を開催する。

文化振興局長　世界的指揮者の佐渡裕氏監修のもと河口湖ステラシアター、河口湖円形ホール、町中いたる所で合唱及び吹奏楽の演奏会など大小合わせて40前後のイベントを実施、河口湖から全国に音楽の魅力を発信する。

関連質問（外川正純）　富士山世界文化遺産登録の機運をさらに盛り上げるため、どのようにしたら良いか。また、「明日の富士五湖創造会議」作業部会の具体策は。

政策局長　職員の名刺や封筒に「富士山を世界文化遺産に」を印刷、小田全宏氏の講演会、構成資産の神社等々の写真展、文化祭に世界遺産をテーマとした書道、絵画、作文募集などを行う。

作業部会では、平成24年度中に県と町と地域の方々が一体となり、この湖の課題の解決と活性化について答えを出していきたい。

関連質問（渡辺余緒治）　世界文化遺産登録の機運を盛り上げるために横断幕、のぼり旗、公用車のステッカーなどの利用を考えているか。

政策局長　町のすべての公用車にステッカーを張る、のぼり旗、横断幕、懸垂幕などは景観と予算を検討しながら進めていく。

来年開催されるやまなし国文祭

Q2 小立土地区画整理事業に関連する周辺道路整備は

質問　小立土地区画整理事業の道路整備と合併支援道路、及び周辺道路整備の進捗状況はどうか、都市計画道路の整備について町の考えと方針は、また乳ケ崎線拡幅舗装工事の進捗状況は。

都市整備課長　小立土地区画整理事業の道路整備について商業地域の道路は供用開始、北側の道路は平成24年度に完成する見込みである。乳ケ崎線で買収が終了しているところは平成25年3月までの予定。

再質問　通称村境線と呼ばれる小立と勝山の境にある道路は今後舗装になるのか。

都市整備課長　平成25年度から27年度の間に全線の舗装を行う予定である。

関連質問（渡辺元春）　フォレストモール南、小立南の信号の南側道路出口線の本工事の進捗状況はどうか。くぬぎ平方面へのアクセス道路の整備計画はあるか。

都市整備課長　出口線用地買収は完了しており、平成24年度に全路線完了する。くぬぎ平に向けては、バスターミナルのある道路の拡幅改良工事の計画はない。出口線から東へ向かう東海自然歩道から上の整備を今後計画していく予定である。

Q3 手話通訳の積極的導入を

質問　聴覚障がい者への重要な意思伝達の方法のひとつである手話を活用した、聴覚障がい者への窓口対応の現状は。手話通訳士の採用を考えているか。

町長　福祉窓口等では、筆談により聴覚障がい者に対応している。平成24年度から手話通訳のできる職員を採用し、福祉の窓口や福祉会議での対応、町のイベントでの十分な活用が出来るよう平成24年度当初予算に計上した。

関連質問（髙山泰治）　CATVにより議会が中継放送されている。再放送の際に手話通訳士の映像を小窓で画面表示するワイプを導入する考えはあるか。

福祉推進課長　予算も含めた問題なのですぐに実施は難しいと思うが、今後実施に向けて取り組みたい。

大石地区のビオトープ

Q4 ホタルの郷の今後は

質問　旧河口湖町では4地区にホタルの住めるビオトープを設置したが、今後どのように考えているか、4地区の対応について考えを問う。

生涯学習課長　地域おこし事業であるので、各地区の地域審議会や振興協議会の皆さんのご意見を伺い、また補助事業でもあり、県とも協議して対応していきたい。

いっぱん 一般質問

一般質問者
三浦　康夫

Q1 地籍調査事業の今後の方針は

質問　各地区の進捗状況、成果はどうか。

農林課長　山林を除く町内の地籍調査事業の認証率（国調の成果）は、勝山地区１００％、足和田地区96％、河口湖地区13％、上九一色地区71％である。実地測量済みだが、認証が遅延している地区の解消を重点的に取り組む計画である。

　平成24年度は、東日本大震災による地殻変動の検証測量を行い、大石地区と富士ヶ嶺地区の認証手続きを予定している。

Q2 木造住宅の耐震化計画と今後の方針を問う

質問　木造住宅の耐震化計画は、国・県の補助金を基にした町の重要施策であるが、現在の耐震化計画の進捗状況、具体的な成果と今後の対策は。

都市整備課長　町では、平成16年度に建築物耐震化計画を策定し、木造住宅の耐震性の把握と、その対策を提起し、啓発を行うことからスタートしている。現在、木造住宅の耐震診断の費用を国・県・町で補助する事業を実施しており、23年度末まで１００件の耐震診断を実施した。平成23年度は、平成19、20年度に耐震診断を行った方が建替え改修工事を実施し、補助金交付実績は5件である。

　平成24年度から建替え事業が無くなるが、耐震改修及び改修設計の補助額が増えたので、耐震改修補助と耐震シェルター設置事業を中心に、耐震改修事業の促進を進め、耐震診断実施者のフォローアップと窓口対応の充実に力を注ぐ。

Q3 湖畔清掃の取り組みを問う

質問　世界遺産を活用した地域活性化が望まれている。地域住民も期待する大規模湖畔清掃が予定されているが、内容はどうか。

政策局長　廃船等処理の要望提案が明日の富士五湖創造会議の中であり、２月の臨時議会で必要経費を予算計上した。作業は３月27日までの予定で行い、個人所有のボート等の回収は精進湖が３月８日、西湖が３月９日、河口湖が３月12日13日の２日間実施する。

　なお、今回の廃船等の処理は、山梨県と連携をとり実施する。

廃船処理

Q4 クニマスの活用を

質問　クニマス発見から町でも地域や各種関係機関と協力する中で取り組みを進めている。今後も山梨県や京都大学など研究機関と協力し、町長がリーダーシップを発揮し、クニマスの保護と活用を関係機関に対し積極的に働きかけていくべきだが町長の考えは。

町長　観光や漁業の振興、教育や環境面でも大きな効果が期待できる。クニマスを通しての地域活性化は地域の要望でもあり、生態展示等の機能を備えた水産技術センターの分室の設置を山梨県に働きかけていきたい。

いっぱん一般質問

一般質問者
山下　利夫

Q1 介護保険料値上げは中止を

質問　65歳以上の介護保険料が、第4段階で年間約1万円も値上げに。法律上可能な一般会計からの繰り入れ増で値上げ中止せよ。国の負担増も求めよ。

町長　介護保険財源の負担割合は国が定めており、一般会計からの繰り入れ増は考えていないが、今後も保険料増が見込まれるため、保険料負担軽減を国に強く要望すべきと考える。

Q2 「要支援1・2」の方のサービスは引き続き介護保険で

質問　町は「要支援1・2」（介護認定で、最も軽い段階）の方のサービスを、介護保険外の「総合事業」で行うことを検討している。保険料を払っているのに、家事援助などの利用が制限される可能性がある。今まで通り介護保険での実施をせよ。

健康増進課長　利用者の状態や意向で、介護保険か「総合事業」かを選択できるため、サービスが制限されることはない。

Q3 船津・小立南部に保育所の増設を

質問　船津保育所は定員300人。県内にこれだけの大規模保育所はない。生活発表会でも、スペースの狭さを感じる。新興住宅が増えている、船津・小立南部に保育所増設を。

町長　現在、町内に待機児童はいない。狭さは感じるが国の面積基準はクリアしている。施設の老朽化などの事情も考慮し、増設を検討する。

防災備蓄倉庫

Q4 防災対策の強化を

質問　①高齢者や障害者の避難対策の取り組みは。②防災備蓄倉庫の西湖周辺への増設は。人口の多い船津地区に、倉庫の増設を。③防災ラジオ（家のなかで防災無線が聞ける）の導入は。

管理課長　①要援護者台帳を作成中。住所、かかりつけ病院、緊急連絡先などを、行政、民生委員、自治会などが共有し、緊急時の速やかな支援を可能に。②自治会と協議し、新たに、西湖、根場の両公民館へ備蓄品を振り分けた。船津地区は平成24年度予算で、町民体育館敷地内に増設する。③検証、検討した結果、防災行政無線の補助的役割を当町でも十分果たせると判断。防災ラジオを500台導入する予算を平成24年度に計上した。

Q5 理事会の承認得ず給与変更した富士北麓森林組合への対応は

質問　富士北麓森林組合が、職員給与変更を理事会の承認を得ずに一部の執行部の会議で決め、その会議に代表監事が出席し協議に参加していたと新聞報道された。組合員の半分以上が町民であり、町も出資している。対応は。

農林課長　関係市町村と連携し、適切に対応していく。

いっぱん 一般質問

Q1 女性の視点を防災対策に

質問　町地域防災会議には、女性が登用されていない。国の防災基本計画には、男女双方の視点に配慮した防災を進めるため、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制を確立する必要があると明記されている。町長の考えは。

町長　町長が内部の職員を指名することができるので、例えば男女共同参画や保健師など、女性職員の参加は可能であり、防災計画の見直しの中でも女性の意見を取り入れる。

一般質問者
佐藤　安子

Q2 自主防災組織の強化を

質問　地域の支えなくして、災害に強い地域にはならない。自治会、区の役員は毎年交代し自主防災の活動も厳しく、行政のリーダーシップが必要。以上のような背景から、質問する。

1、毎年、自治会長・区長・組長を中心とした防災講演会の開催。

2、自治会・区単位の防災マニュアルと防災マップの作成の推進。

3、学校・家庭・地域の連携で登下校時の子どもの安全確保。

管理課長　1、防災講演会開催を検討し、自主防災を構築していただく。2、富士桜・スバル区防災マップ等の参考例を資料として提供している。更なるマニュアル・マップ作成の推進を図る。3、防犯も含め、自治会長等地域の方々のご協力が得られるよう学校に指導し、行政も含め一体となって子どもの安全を守っていきたい。

Q3 住民主体の避難所開設訓練を

質問　当町の総合防災訓練は、初動体制訓練や炊き出し訓練のほか、昨年は地域の避難者確認や、安否確認のタオルを玄関先に上げるなど、これらも大切な訓練だが、東日本大震災以降、避難所開設訓練の必要性は高まってきている。まちの一地域だけでも実施せよ。

管理課長　女性の視点に立った防災体制、避難施設開設訓練は必要なことである。授乳場所、トイレ、更衣室、季節によっての防寒・暑さ対策等さまざまな問題が想定される。現行の総合防災訓練からは見えてこない問題の提起ができる。避難所で必要なものも浮き彫りになると思うので、ご提案は今後検討したい。

○その他質問
富士山世界文化遺産へのこれからの取り組み
おもてなしのこころを

河口地区防災訓練

議会改革は議員の意識改革から

議長退任あいさつ……古屋　一哉

第８代議長として就任以来２年半の間、町民や議員各位をはじめとする多くの皆様のご指導ご協力を賜り、また、堀内昭登　渡辺元春　小佐野快の３名の副議長共に、職責を全うすることができましたことを心より感謝を申し上げます。

議長就任時は改選期でもあり、議員18名のうち、新人議員９名のスタートでした。二元代表制の下で議会の役割が十分機能した議会運営をしっかりできるか心配した感もありました。

まず、議会改革とは議員の意識改革であると考え、議会改革を目的とした先進地研修や情報収集、また、協議を通じ議会改革への意識を全議員が共有してまいりました。さらに富士河口湖町議会基本条例の制定を目指し、昨年６月定例会において議会改革推進特別委員会が発足しました。髙山泰治議会改革推進特別委員長の下、議会改革が進むものと確信しております。

議会の透明性の観点から、常任員会及び予算決算委員会の公開を特別委員会ですでに決議しております。委員会での細部にわたる審議の活性化を進め、町民の意見を町政に反映できるよう議員一同邁進しおりますので、委員会の傍聴に足を運んでいただければと思います。

今後は、三浦康夫新議長の下、さらなる議会改革の推進と議会からの発信として、予算決算等の審議内容の議会報告会や町民の皆様と膝を交えた懇談会の開催が推し進めていただけるものと期待しています。

終わりに、町民の皆様の今後のご隆盛と、富士河口湖町が「住んでよし、訪ねてよし」の「まち」としてさらに発展するよう、町政発展のため全力を尽くしてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げ退任のご挨拶といたします。

昭和町議会の視察

下田黒船まつりを視察

「カヌーのメッカ 精進湖」を目指して

渡辺 袈裟一（精進）

精進湖のカヌーの始まりは、昭和61年「かいじ国体」のカヌーレーシング競技が開催されたことが原点で、その後、高校野球が甲子園ならカヌーは精進湖にとの強い思いで、旧上九一色村時代から各種のカヌー大会を誘致・開催してきました。

我々観光業者も、毎年春のシーズン開始時にはコースの設置を始め、精進湖にカヌーが定着するための環境整備と、全国から集う選手・役員等関係者の受入れに万全を期してきました。安全・安心の競技場づくりには、当初から変わらず日夜努力を重ねてきました。

富士河口湖町との合併後は、町当局から精進地区の活性化のために特別な配慮をいただいております。選手の育成には、町職員がボランティアでカヌークラブの指導に当ってくれています。小学生から選手育成に努力された結果が大きな実を結び、この度のオリンピック出場権獲得選手の誕生となりました。このことは、「渡辺大規選手」の努力と精進はもちろんですが、町、地域、カヌー関係者のご理解、ご支援の賜物だと思います。町議会からは、「カヌーは旧上九一色地区の文化である」との心強い後押しも受け、地域が一体となってカヌーに取り組んでいます。

厳しい財政事情の中で、町では今年精進湖カヌー場の整備に取り組んでくれるとのことで、地元では大きな期待をもって心待ちしているところです。

地元オリンピック選手の誕生を機に、精進湖がゆるぎない「カヌーのメッカ」になるように、これからも地域を挙げて取り組んで参りたいと思います。

渡辺大規君壮行会

議会 見・聞・録

ようやくその時が来た。緊張と興奮の面持ちで議場入りした聴覚障害者、手話サークル会員、手話通訳士の17名。そのほとんが初の傍聴である。聴覚障害者にとって議会で審議・承認された内容を知るすべは、後に届く「議会だより」のみ。傍聴できる事やCATVによる生中継や再放送がある事は知っている。しかし、その全ては音声によるもので情報から取り残される。

今日は違う。手話通訳士を通し、今まさに目の前で熱く繰り広げられる質問・答弁を瞬時に知る事ができる。長年要望してきた夢が叶うのか?固唾を飲む…新たな歴史が刻まれる瞬間を皆と共有できた。意識しなくとも当たり前に耳から入る音の全て。音のない世界で生きる聴覚障害者にとって、今後も暮らしや将来を議論する身近な町民代表者や議会であってほしいと願う。（白壁由里子）

編集後記

前委員長が議長に就任したため、委員長に就かせて頂く事になりました。議会の審議はCATVで放送されていますが、この議会だよりはもっともっと議会を知って頂こうとの想いで編集をしています。特にこれからの一年は議会改革の推進状況を随時掲載していきたいと考えています。いつも町民目線で編集委員一丸となって取り組んでいきますので、皆さまのご意見ご感想をお寄せ下さい。

（佐藤安子・記）

議会だより編集特別委員会
委員長　佐藤　安子
副委員長　堀内　昭登
委員　渡辺　元春
小佐野　快
梶原　武
山下　利夫
三浦　康夫

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

議会だより ふじかわぐちこ 2012.5 vol.34
発行□富士河口湖町議会
編集□議会だより編集特別委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167